

松葉による静岡県内の放射能調査結果 2011/11/07 改定

河野益近さんブログより編集・転記 <http://kohno.at.webry.info/>

監修・測定：河野益近（京都大学大学院工学研究科原子核工学）
 発行：静岡放射能汚染測定室（プラムフィールド内）TEL/FAX: 054-209-2021
 編集：生活科学ネットワーク 松葉採取：静岡県在住協力者のみなさん

松葉は静岡県内25地点より、発芽年度別に採取（2011/8/30-9/16）。測定対象は放射性セシウム。図に活用したデータは、Cs-134+137(Bq/kg)。

- ・【 】内は、放射能が一番高かったと推測される2011/3/15の推定最大値。
- ・2010年発芽の松葉は、原発事故の時には既に発芽していたので、当時の放射能雲の影響を直接受けている。
- ・2011年発芽の松葉は、大気中の放射能濃度が低くなった5月初旬の発芽。環境中に残った放射能の影響を受けている。

チェルノブイリ原発事故(1986/4/26)後の測定
[79.4]推定最大値 27.3(1985年発芽松葉)静岡

